

報告書変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記検査項目におきまして、検査報告書の変更をご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 変更日 2025年2月17日(月) ご報告分より

■ 対象項目

項目コード (旧項目コード)	検査項目
OON30 4 (ON30 3)	悪性リンパ腫総合解析 「ML-NET」 v2

■ 変更内容

報告書のフォントサイズを拡大いたします。



● 悪性リンパ腫総合解析 「ML-NET」 v2

報告書の可読性向上のために、フォントサイズを拡大いたします。
検査内容にかかわる変更はございません。

報告書イメージ 新報告書

SRL 病理検査報告書 最終報告
0122-0205-11133-1
5173 ZZ 999001035

受入テスト #35 殿 医師名 nH n5 先生
科名 病棟
生年月日 2000年 1月 1日 受付No. 733085273
SL0020 G20 殿 性別 男性 25 歳 その他No.
カカ子船
採取日 2025年 1月21日 材料37 組織
受付日 2025年 1月22日
報告日 2025年 2月 5日

悪性リンパ腫総合解析検査

■ 検査結果
Final report: Malignant lymphoma, diffuse large B-cell lymphoma, see notes.
FINAL report: High-grade B-cell lymphoma with MYC and BCL2 and/or BCL6 rearrangements, compatible
Additional report: High-grade B-cell lymphoma with MYC and/or BCL6 rearrangements
rearrangements

■ 総合所見
送付された検体は、リンパ節の基本構造は消失し、一部に壊死を伴いながら、大至異細胞性のびまん性増殖が見られます。免疫染色では、異型細胞はCD20陽性、CD3陰性です。以上から上記を考えますが、確認のための追加検査をさせていただきます。

（最終報告）
追加検査などの結果、上記診断として手戻りません。腫瘍には染色体FISH法によるBCL2あるいはBCL6の再構成の確認が必要です。

（追加報告）
追加いただいた染色体FISH検査の結果より、上記と診断します。
いわゆるTriple-hit lymphomaと考えられます。

■ 免疫マーカー検査
大至細胞においてCD19、CD20、CD25、A-cd、陽性の細胞が検出されました。この腫瘍には免疫マーカー（線画）の留たりが確認されました。

■ 染色体検査
FISH: t(12;22)(q11;q12), t(8;14)(q24;q32), t(14;18)(q32;q21)が陽性している可能性のある異常が認められました。
FISH: IGH/MYC: 陽性マーカーが検出されました。BCL2: 27/51マーカーが検出されました。BCL6: 27/51マーカーが検出されました。

■ 遺伝子検査
IGH-JH: 再構成を認めませんでした。
EBV: 陽性は検出されませんでした。
IGH再構成 (IGH): 再構成を認めませんでした。

■ 追加検査
免疫染色: 異型細胞にCD19(+), CD20(+), CD25(+), A-cd(+), EBV(-)。

検査責任者 三好 寛明
三好 寛明
最終ページです
SRL 株式会社 エスアールエル
検査責任者 和田 かおり
127-6262-1565111
医療機関専用ダイヤル 0368376344 東京都あきる野市洲上50

現報告書

SRL 病理検査報告書 最終報告
0729-0019-11133-1
5173 ZZ 999001035

受入テスト #35 殿 医師名 uH n5 先生
科名 病棟
生年月日 2000年 1月 1日 受付No. 724228879
SL0001 001 殿 性別 男性 24 歳 その他No.
カカ子船
採取日 2024年 7月25日 10時 0分 材料37 組織
受付日 2024年 7月29日
報告日 2024年 8月19日

悪性リンパ腫総合解析検査

■ 検査結果
Final report: Malignant lymphoma, diffuse large B-cell lymphoma, see notes.
Final report: Malignant lymphoma, diffuse large B-cell lymphoma, CD20
positive

■ 総合所見
送付された検体は、リンパ節の基本構造は消失し、一部に壊死を伴いながら、大至異細胞性のびまん性増殖が見られます。免疫染色では、異型細胞はCD20陽性、CD3陰性です。以上から上記を考えますが、確認のための追加検査をさせていただきます。

（最終報告）
追加検査などの結果、上記診断として手戻りません。腫瘍には染色体FISH法によるBCL2あるいはBCL6の再構成の確認が必要です。

■ 免疫マーカー検査
大至細胞においてCD19、CD20、CD25、A-cd、陽性の細胞が検出されました。この腫瘍には免疫マーカー（線画）の留たりが確認されました。

■ 染色体検査
FISH: t(12;22)(q11;q12), t(8;14)(q24;q32), t(14;18)(q32;q21)が陽性している可能性のある異常が認められました。
FISH: IGH/MYC: 陽性マーカーが検出されました。BCL2: 27/51マーカーが検出されました。

■ 遺伝子検査
IGH-JH: 再構成を認めませんでした。
EBV: 陽性は検出されませんでした。
IGH再構成 (IGH): 再構成を認めませんでした。

■ 追加検査
免疫染色: 異型細胞にCD19(+), CD20(+), CD25(+), A-cd(+), EBV(-)。

検査責任者 三好 寛明
三好 寛明
最終ページです
SRL 株式会社 エスアールエル
検査責任者 和田 かおり
127-6262-1565111
医療機関専用ダイヤル 0368376344 東京都あきる野市洲上50